



退任の辞

鈴木 昭雄

この八月末でせたがや榎の木会
・理事長を退任しました。この機会
に、当法人に対し長年にわたってご
支援・ご協力を賜った多くの方々
心からの謝辞を申し述べさせていただきます
とさせていただきます。

法人設立以来の十有余年、榎の木
会の事業は、日中活動を中心に拡大
・充実の一途をたどってまいりました。
これもひとえに、利用者の皆様
方が当法人の福祉サービスを積極
的に受け入れて下さったことと、福
祉の現場を担う職員の一人ひとりが
日常の業務の中で示してくれた
熱意と努力によるものと思ってい
ます。

榎の木会のこれからにとって、今
までの事業運営の中で培ってきた
有形・無形の資産と実力を将来に向
けて有効活用しながら、新たな発想
に基づく・新たな事業にアグレッシ
ブ（積極的）に挑戦し、時代の要請
に応えていくことが肝要であると思
います。それと同時に、これまでの
の事業実績を厳しく点検しつつ、法
人経営の重点を、「貞観政要」（中国

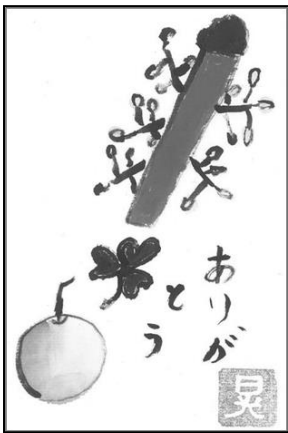
・唐の太宗の言行録）に言う「創業
から守成（成立した事業を守ること
）へ」と移していくことも、重要な
検討課題となってくると思います。

このような難題を処理するに当た
って主役を果たすのは、これまで着
実に力をつけてきた「若手職員」
以外には考えられません。彼らの一
層の精進と活躍を心から期待して
います。

私は、大学を出て公務員生活を始
めてから一貫して、「世のため・ひ
とのために」役立ちたいという、少
しばかり気負った気持ちで仕事に
取り組んできました。この退任を機
に、これからは「愛する者のため・
自分自身のために」生きることを
第一にして、余生を過ごしていきたい
と考えているところです。

「星一つ 命燃えつつ 流れけり」

（虚子）



理事長職務代理として

理事長職務代理 佐藤 勝

せたがや榎の木会創設以来、法人
経営に携わってこられた鈴木昭雄
理事長が退任され、後任の新理事長
が選任されるまでの間、理事長職務
代理として法人運営の職務を務め
させていただくこととなりました。
これまで前理事長が築き上げた知
的障害福祉の偉大な功績を継承し、
今後の発展に向けたつなぎ役とし
て微力ですが頑張る覚悟です。

さて、本法人も今年で十二年目に
入り、この間、事業も拡大し十一事
業所を運営するまでになりました。

長年の懸案であったグループホ
ーム、短期入所施設についても、上
町福祉作業所改築との複合型建設
計画により実現に一步步近づきま
した。しかし、国の財源が厳しいとの
情報もあり、世田谷区の一層の協力
をいただき早期実現を目指し、利用
者・ご家族の喜ぶ姿を一日も早く見
られるよう進めます。

新体制が始まるまでの短期間では
ありますが、誠心誠意努めますの
で、今後とも一層のご支援を賜りま
すようお願い申し上げます。

「プレリズってどんなところ？」
児童デイサービスセンター

プレイ&リズム希望丘

管理者 布施 麻紀子



児童デイサービスセンタープレイ&リズム希望丘（通称プレリズ）は、『児童発達支援事業』及び『放課後等デイサービス事業』の多機能型として事業を行なっています。概ね三歳前後の小さなお子様から、高校三年生の大きなお兄さん・お姉さんまで、人間の成長で最も大切な時期に通って頂いているプレリズ。こじんまりした建物の中に日々、笑ったり泣いたり。お子様達とスタッフの熱いドラマがギュッと詰まっています。



開設は平成十七年七月。当時は支援費制度での児童デイサービスと、世田谷区の補助事業での障害児タイムケア事業として始まりました。この八年間で制度の廃止や移行、根拠法の度重なる変更等、事業を行なう環境は慌ただしいことだらけでした。しかしそのような中、お子様達は日々着実に成長し、一年、また一年と逞しい姿を見せてくれています。

開設は平成十七年七月。当時は支援費制度での児童デイサービスと、世田谷区の補助事業での障害児タイムケア事業として始まりました。この八年間で制度の廃止や移行、根拠法の度重なる変更等、事業を行なう環境は慌ただしいことだらけでした。しかしそのような中、お子様達は日々着実に成長し、一年、また一年と逞しい姿を見せてくれています。



	児童発達支援	放課後等 デイサービス
開所日	水・木・土 9:30 ~ 13:30	月 ~ 土 14:00 ~ 18:00
対象	未就学児	小中高生
日課	ウォーキング リトミック 着席課題 お弁当・歯磨き 外遊び（プール、公園等）	アート・音楽・ クッキング・工 作・劇・体操プロ グラム等 レストラン等への外出

【児童発達支援事業】



リトミックを中心としたプログラムによるグループ療育を行なっています。人と関わることの快適さを体験し、人との関わりの中から沢山の事柄を学び、吸収できる場作りに努めています。未就学児さんは、とにかく元気一杯。来所後は大きなトランポリンや滑り台、鬼ごっこ等で思いきり身体を動かしています。全身を動かして感覚遊びをした後は、リトミックの課題に入ります。通い始めた頃は、なかなか着席が出来なかつたお子様も、三ヶ月を過ぎる頃にはぐーんと集中力が増し、あつという間に一時間弱のプログラムに落ち着いて参加している姿が見られます。リトミック後の着席課題である、お菓子作りや工作も、出来る範囲から楽しく始め、個別の課題に合わせて難易度を上げていきます。皆さんご自分で作った作品をお迎えのご両親に得意げな顔で見せるのが大好き。もちろん苦手な

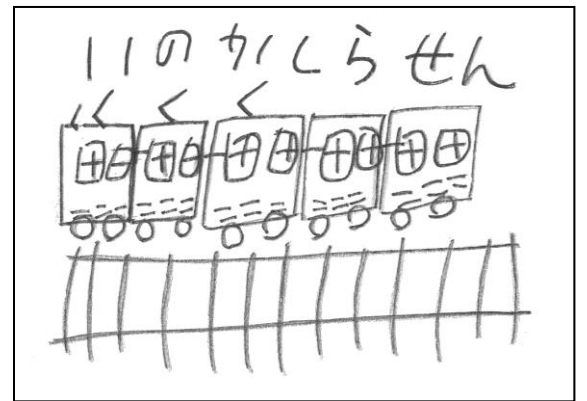
課題もあれば、お友達と仲良く出来ずに泣いてしまう日も、ブウと拗ねてしまう日もあります。それでも太陽のような、元気な笑顔がいつぱいの未就学児グループ。近隣の方が「外から見て、とても楽しそうだったので」と訪ねてくることも少なくありません。



【放課後等デイサービス】

お母様の自転車の後ろにお行儀よく乗ってこられる小さなお子様から、ジャケットや学ランをビシッと着てこられる大きなお子様まで、プレリズの午後を盛りあげて下さっている小中高生のグループ。排

世の自立や他者との関わり方等、個別の課題は丁寧支援していきま
すが、何といても「放課後や夏休
みを楽しく豊かに過ごしたい！」と
いう思いが強いグループです。楽し
めることを見つめる。得意なことを
皆に認められ頼りにされる。没頭で
きる事がある・・・学校を卒業し成
人期を迎えた時に、その人らしく豊
かに生きる為にも、沢山の経験を積
んでおきたいのがこの時期。お子様
達には様々な活動に触れて頂きた
いと、プログラムも多岐にわたるよ
う工夫しています。クッキングや工
作等比較的個人個人のペースで楽し
めるものや、大玉転がし等みんな
盛り上がるもの、夏休みに行なう電
車やバスを使った外出・・・なか
にはお子様達のリクエストから生ま
れた活動もあり、今後もお子様達と
共に成長する魅力的な場を目指し
ていきたいと思っています。



「地道な研修、地道な底上げ」

研修委員長 村瀬 精二

堅実に動き出しています。新人研
修で八名が法人の概要、考え方を確
認し、春の飯田セミナーでは七十五
名が支援の基本姿勢を学び、また現
場研修で二十四名が仲間の仕事ぶ
りから感化を受けることになりま
した。加えて新企画の年次別研修に
は二十名が随時参加してゆきます。
年次別研修は二〜五年次まで同
期で集まり、法人の未来を支える仲
間作りを意図しています。所長を講
師に参加者の課題意識に沿ってフ
リー討議、一緒に支援のことを考え

る時間です。

次の冬セミナーは(社福)おおよ
ら理事長の西原先生に「利用者の気
持ちを汲み取る」と題して二月七日
にお話を伺うことに決まりました。

この四本の自主研修を法人の地
道な基本研修として、その上に各事
業所単位でOJTや研修が生まれ
多層な仕組みになっています。

さて、研修委員会では自己研修の
応援体制、勉強会の立ち上げ等に関
して人材育成の底力になるような
体制を、と検討していきます。



世田谷区手をつなぐ親の会

知的障害者の権利を守り、教育と福祉の充実を目指し活動しています。

☆ 新しい事務所へ移転しました。

〒154-0022 世田谷区梅丘 1-24-14 フリート梅丘 301

TEL 03-3706-0067

FAX 03-3706-0246

URL : <http://oyanokai-setagaya.com>

利用者ひとことコーナー

用賀福祉作業所

2013.10.1 日帰りレク

ひが川レクはとてまたのしかた
みなでぶどう、しいたけ、パーベキュー
をしましたおもしろかったです
バスの途中でそとあげしは
ハヤクマがハクみえて
まるでモーターのようでした

ぶどうがりをしました



日帰りレクの感想文
しいたけ狩りに行きました。
しいたけたくさん採りました。
×れいれい採りました。
ぶどう狩りに行きました。
ぶどうたくさん食べました。
美味しかったです。
道の駅に行きました。
お土産を買いました。
ポンダントを買いました。

ぶどうがりをしました



日帰りレクで、皆でぶどうがりをしたり、
しいたけがりをしたり、パーベキューをやったりおみやげを
買ったりして、一番楽しかったのは、ぶどうがりが
楽しかったです。又、甘くておいしかったです。

しいたけがりをしました



日帰りレク
ぼくたちは、10月1日
(火)に埼玉県秩父に日帰りレクに行
きました。ぶどう狩り、
しいたけ狩りもちつき、パーベク
ーをやりました。ぼくはぶどう狩り
がいちばん楽しかったです。
またチャンスがありましたら
秩父に行きたいです。

しいたけは大きいしいたけのことか
たいへんでした。きょうのぶどう
したでハキユしたのがよか
つたです。道の駅はと
てもよかったです。

もちつきをしました



日帰りレク
ぶどう かわいいおいしかったです。
おもちがおいしかったです。
しいたけがおいしかったです。
しいたけをいっぱい採りました。
パーベキューが楽しかったです。

平成24年度決算報告書

貸借対照表				
平成25年3月31日現在				(単位:円)
勘定科目	合計	社会福祉事業計	就労支援事業計	公益事業計
資産の部				
流動資産	299,894,696	144,702,505	154,627,792	564,399
固定資産	126,544,220	99,724,861	26,819,359	0
(基本財産)	42,561,756	42,561,756	0	0
(その他の固定資産)	83,982,464	57,163,105	26,819,359	0
資産の部合計	426,438,916	244,427,366	181,447,151	564,399
負債の部				
流動負債	82,685,859	50,411,706	31,907,907	366,246
固定負債	20,922,560	9,286,910	11,635,650	0
負債の部合計	103,608,419	59,698,616	43,543,557	366,246
純資産の部				
基本金	55,841,950	55,841,950	0	0
国庫補助金等特別積立金	2,223,688	145,377	2,078,311	0
その他の積立金	58,900,000	47,000,000	11,900,000	0
次期繰越活動収支差額	205,864,859	81,741,423	123,925,283	198,153
(うち当期活動収支差額)	24,993,940	5,519,047	19,582,833	△ 107,940
純資産の部合計	322,830,497	184,728,750	137,903,594	198,153
負債及び純資産の部合計	426,438,916	244,427,366	181,447,151	564,399
脚注:	1.減価償却の累計額		13,553,294 円	
	2.徴収不能引当金の額		0 円	
	3.期末商品(製品)棚卸高		547,157 円	
	4.期末原材料棚卸高		1,062,269 円	

資金収支計算書						
(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日						(単位:円)
勘定科目	合計	社会福祉事業会計	就労支援事業会計	公益事業会計	内部取引調整	
経常活動	経常活動収入(1)	673,678,494	459,321,261	388,033,003	17,580,613	191,256,383
	経常活動支出(2)	621,386,706	439,282,265	355,672,271	17,688,553	191,256,383
	経常活動収支差額(3)=(1)-(2)	52,291,788	20,038,996	32,360,732	△ 107,940	0
事業活動	就労支援事業収入(4)	44,277,011	0	44,277,011	0	
	就労支援事業支出(5)	44,162,334	0	44,162,334	0	
	就労支援事業活動収支差額(6)=(4)-(5)	114,677	0	114,677	0	0
施設整備	施設整備等収入(7)	393,388	263,390	129,998	0	
	施設整備等支出(8)	972,090	163,590	808,500	0	
	経常活動収支差額(9)=(7)-(8)	△ 578,702	99,800	△ 678,502	0	0
財務活動	財務活動収入(10)	2,000,000	2,000,000	0	0	
	財務活動支出(11)	23,900,000	12,000,000	11,900,000	0	
	財務活動収支差額(12)=(10)-(11)	△ 21,900,000	△ 10,000,000	△ 11,900,000	0	0
予備費(13)	0	0	0	0		
当期資金収支差額合計 (14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(13)	29,927,763	10,138,796	19,896,907	△ 107,940	0	
前期末支払資金残高(15)	211,621,926	97,377,299	113,938,534	306,093		
当期末支払資金残高(14)+(15)	241,549,689	107,516,095	133,835,441	198,153	0	

事業活動収支計算書

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

(単位:円)

勘定科目		合計	社会福祉事業	就労支援事業	公益事業	内部取引調整
事業活動	事業活動収入 (1)	673,997,880	336,352,156	328,091,452	9,554,272	
	事業活動支出 (2)	649,285,338	355,795,115	284,647,036	8,843,187	
	事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	24,712,542	△ 19,442,959	43,444,416	711,085	
外収支	事業活動外収入 (4)	51,600	122,629,448	60,652,194	8,026,341	191,256,383
	事業活動外支出 (5)	0	97,767,242	84,643,775	8,845,366	191,256,383
	事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	51,600	24,862,206	△ 23,991,581	△ 819,025	0
経常収支差額 (7)=(3)+(6)		24,764,142	5,419,247	19,452,835	△ 107,940	
事業活動	就労支援事業収入 (8)	44,277,011	0	44,277,011	0	
	就労支援事業支出 (9)	44,277,011	0	44,277,011	0	
	就労支援事業活動収支差額(10)=(8)-(9)	0	0	0	0	
特別収支	特別収入 (11)	393,388	263,390	129,998	0	
	特別支出 (12)	163,590	163,590	0	0	
	特別収支差額(13)=(11)-(12)	229,798	99,800	129,998	0	
税引前当期活動収支差額(14)=(7)+(10)+(13)		24,993,940	5,519,047	19,582,833	△ 107,940	
法人税、住民税及び事業税負担額(15)		0	0	0	0	
当期活動収支差額合計(16)=(14)-(15)		24,993,940	5,519,047	19,582,833	△ 107,940	
繰越活動収支	前期繰越活動収支差額 (17)	180,870,919	76,222,376	104,342,450	306,093	
	当期末繰越活動収支差額(18)=(16)+(17)	205,864,859	81,741,423	123,925,283	198,153	
	基本金取崩額 (19)	0	0	0	0	
	基本金組入額 (20)	0	0	0	0	
	その他の積立金取崩額 (21)	0	0	0	0	
	その他の積立金繰入額 (22)	0	0	0	0	
	次期繰越活動収支差額(23)=(18)+(19)-(20)+(21)-(22)	205,864,859	81,741,423	123,925,283	198,153	

平成 24 年度寄付金等受領報告

平成 24 年度 下記の方々から貴重なご寄付をいただきました。
深く感謝申し上げます。

ご寄付者氏名・団体名	金額
世田谷区手をつなぐ親の会 様	300,000円
社会福祉法人東京都共同募金会 様	1,500,000円
公益信託障害者愛の福祉基金 様	199,800円
新藤 徹 様	100,000円
北沢優申会 様	50,000円
尚友倶楽部 様	163,590円
東京善意銀行 様	129,998円
NPO 法人手話ダンス YOU&I 様	30,000円
世田谷区地域保健福祉等推進基金 様	99,800円
他、匿名の方々	100,000円

合計 2,673,188 円

第十一回「秋桜祭」

千歳台福祉園

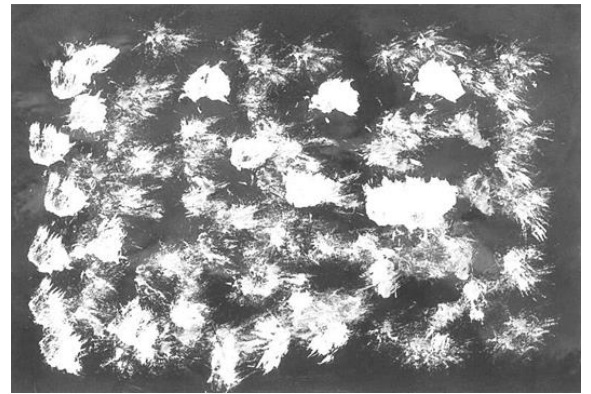
園祭実行委員長 高橋 里雄

地域の方、そしてボランティアをしていただいた方、利用者ご家族等、様々な協力のもと、無事今年も秋桜祭を開催、成功させることが出来ました。ありがとうございます。

今年は、前庭でポン菓子販売したり、屋上にゲームコーナーを設けたり、職員によるフォークデュオを披露したりと新しい内容が盛り沢山でした。

模擬店は、大賑わいで早い段階で売り切れ、イベント会場では、「M Jライフ」がマイケルジャクソンのパフォーマンスを魅せてくれました。そして来年度も参加したいと話してくれました。

実行委員としては、利用者、利用者ご家族、地域の方、ボランティアの方等、皆さんの「笑顔」が何よりの達成感となりました。皆さん、来年もよろしく願います。そして、今年来られなかった方も是非、来年は遊びに来てくださいね。



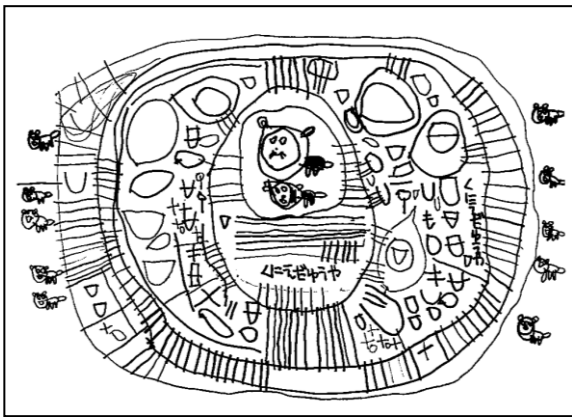
「大原秋まつりを終えて」

大原福祉作業所 中村 翔

あじさい会(利用者会)副会長による朗らかな挨拶で幕開けした「大原秋まつり」は、天候にも恵まれ、秋まつりの名に相応しい見事な秋空の中での開催となりました。今年も多く地域の皆さまが足を運んでくださり、毎年のことながら賑やかなものでした。

今年のスペシャルイベントは、ユニークなダンスを披露して下さった「わくわく&小田竜ダンサー

ズ」から始まり、次いで大原利用者・職員によるミュージカル「ウエストサイド・ストーリー」を行い、練習した歌とダンスを十分に発揮できました。締めは、今年も「エヴァ・トライズ」さんによるライブで、利用者の方とのセッションもあり、お客さん参加のダンスが練り広げられました。ダンスに始まりダンスに締め括られた大原秋まつりは、こうして無事幕を閉じたのです。ご協力賜った、ご家族の方・ボランティアの方・地域の方々に改めて感謝とお礼を申し上げます。



榎の木 役員 NEWS

せたがや榎の木会の役員は、評議員 15 名、理事 7 名、監事 2 名で構成されています。理事は全員評議員を併任しているので、実際の人数は、計 17 名です。
 8 月 28 日に開催された理事会において、定款の規定に基づき、9 月 1 日付で佐藤理事が理事長職務代理に選任されました。
 10 月 18 日、評議員会・理事会を開催し、評議員・理事の辞任による欠員の補充を決めました。

辞任		選任 (10月19日付)
理事	鈴木 昭雄 (8月31日付) 村瀬 精二 (10月18日付)	理事 池田 瑞枝 水戸 都紀子
評議員	鈴木 昭雄 (8月31日付) 吉田 快永 (10月18日付)	評議員 池田 瑞枝 水戸 都紀子

お詫び

前回発行の「かしの木 13号」に掲載いたしましたイラストを提供して下さった、ご利用者様のお名前表記に不手際がございました。

今後はこのようなことの無いよう、細心の注意を払う所存でございます。

ご利用者様には多大なご迷惑をおかけすることになりましたことを、深くお詫び申し上げます。

編集委員一同

職員人事のお知らせ

異動（七月一日付）

本部事務局

主任 亀谷 美由起

（前わくわく祖師谷 事務員）

千歳台福祉園

事務員 堀部 英子

（前本部事務局 事務員）

下馬福祉工房

事務員 岩田 久子

（前千歳台福祉園 事務員）

わくわく祖師谷

事務員 杉本 光治

（前下馬福祉工房 事務員）

新規採用（五月一日付）

千歳台福祉園

支援員 草野 貴昭

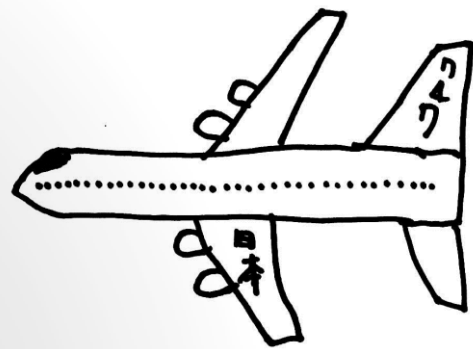
わくわく祖師谷

支援員 石田 正之

退職（八月三十一日付）

わくわく祖師谷

支援員 岩川 章子



下馬福祉工房と喜多見福祉作業所のみなさんから本紙へ7点の絵を提供していただきました。ありがとうございました。

編集発行

社会福祉法人せたがや樫の木会

〒155-0033 東京都世田谷区代田1-29-5

TEL 03-5481-1010

FAX 03-5787-4051

E-mail setagaya-kasinokikai@poppy.ocn.ne.jp

URL : <http://kashinokikai.net>

編集委員

水戸 伊藤 齋藤 小弓場 北川 矢部 小野

～編集後記～

これからたくさんある冬のイベントを思いっきり楽しめるように皆さん健康管理には気を付けて元気にお過ごしください。